

現地視察をスタート

伯耆町、亘理町の事例を見てきたが、パワフルジャパンの活動は今、日本全国規模で広がってきている。

2014年4月24日、自民党本部において、第14回目の官民パートナーシップ研究会が開催された。プレゼンターは新潟県佐渡市の甲斐元也市長である。市長直々にお越しいただき、「佐渡市将来ビジョンの達成について」と題したプレゼンテーションを行った。

また、甲斐市長に加えて、佐渡市の民間企業の方々にもご参加いただき、行政とは異なる観点からの意見も伺った。民間企業のプレゼンターは、株式会社広瀬組の廣瀬社長、そして尾畠酒造株式会社の尾畠専務である。

佐渡市も、他の地方自治体と同じく、人口の減少は経済活動の低迷を招くだけではない。今後もこの状況が続ければ、交付税額の大削減につながるだけでなく、市の予算規模も大幅削減を余儀なくされる可能性がある。

人口の減少は、経済活動の低迷を招くだけではなく、市の予算規模も大幅削減を余儀なくされる可能性がある。

佐渡市も、他の地方自治体と同じく、人口の減少は経済活動の低迷を招くだけではなく、市の予算規模も大幅削減を余儀なくされる可能性がある。



「官民パートナーシップ研究会を受けて 現地視察&意見交換会を開催」新潟県佐渡市

農と観光という資源を有効活用 した地域活性化策を模索中

現地での意見交換会の冒頭挨拶に立った甲斐市長は、佐渡市を活性化させるための方策について、次のように語った。

「佐渡市長を拝命して2年。佐渡にはお米を中心にして、おいしい果物や野菜がたくさんある。それを広げ、かつ付加価値を高めていきたい。ただ、これは農業に限った話ではないが、佐渡市全体で高齢化が急速に進んでいる。また、

それに伴つて人口の減少も続いている。これは佐渡市だけではなく、日本の地方自治体全体に共通する問題だ。

これを変えていくには、市町村の頑張りだけでは無理で、やはり国にうねりを起こしてもらわ必要がある。生産年齢人口が減少傾向をたどっていくなか、これまで高齢者や女性も働き手となってきたが、これからは高齢者や女性も、ではなく、高齢者と女性が労働の担い手であるという認識を、新たに持つ必要がある。

そのためには県外市町村との連携が必要であり、そのなかで佐渡市がどういう役割を担つているのかを、これから考えていくと思

う」。

さらにこの意見交換会では、地元選出の衆議院議員、細田健二代議士も参加。積極的な意見交換を行った。

また佐渡市側からは甲斐市長の他、佐渡市役所の各課長、さらには佐渡市の女性リーダーたちが複数名参加した。そのなかで出た意見は、次のようなものになる。

「佐渡の観光業は、どんどん水かさが減つていて、細田代議士は次のように今回の内容を締めくくった。

特集



実家 て、結構、農作業を手伝いました。
2008年に40代前後の主婦が集まって作った組織です。佐渡市の街並みがどんどん古くなっていることをひしむと感じ、自分たちが動いて何かをしなければならないと考え、実際に移しました。住んでる人たちが、地元のこと誇りに思って、そこに住んでいることが楽しいと実感してもらえるような街づくりをしていくたいと思います。

佐渡 市の南の方で街並みを活かそうと、2008年に40代前後の主婦が集まって作った組織です。佐渡市の街並みがどんどん古くなっていることをひしむと感じ、自分たちが動いて何かをしなければならないと考え、実際に移しました。住んでる人たちが、地元のこと誇りに思って、そこに住んでいることが楽しいと実感してもらえるような街づくりをしていくたいと思います。

ビジネスが成り立てば人は来る

こうした地元女性リーダーたちの活動内容を伺つたうえで、元気会メンバーは率直な意見を出し合つた。

◆インバウンドを増やすためには、まず地域の人たちが一緒に取り組んでいくことが必要。チーム作りが大事です。見たところ、今日の集まりで初めて顔を合わせたという方も多いようですが、佐渡市の観光を盛り上げていくこ

と、お米や観光振興にもつながっていきます。日本酒の輸出が増えるほど、そしてそれを飲まれた海外の方が日本に興味を持つようになれば、おいしい日本酒を求めて日本にいらっしゃるでしょう。日本酒の輸出促進は日本文化の拡散につながっていくのです。

宿

宿を経営しています。2014年に開店89周年を迎えた。その4代目の女将で、

す。2度の大地震（2004年の新潟県中越地震、そして2007年の新潟県中越沖地震）で、客足がぱつたりと途絶えてしまい、何かアクションを起こさなければと思いつい、新潟県の旅館の女将が集まって、お会い会を結成しました。最初は、とりあえず親睦を深めることを目的に設立されました。徐々にお互いの悩みを打ち明け合うようになり、かれこれ今年で9年目の活動に入ります。佐渡市にとうて観光は非常に重要な資源なのですが、今、非常に疲弊しているのも事実です。本当の意味で、旅館業稼げるのは5～10月くらいまで。11月から一気に売上が沈みます。1、2、3月は冬眠していた方が良いくらいで、2月に至つては全館休業状態です。極めて厳しい時期に来ているなという印象を受けます。

佐渡市にとうて観光は非常に重要な資源なのですが、今、非常に疲弊しているのも事実です。本当の意味で、旅館業稼げるのは5～10月くらいまで。11月から一気に売上がりが沈みます。1、2、3月は冬眠していた方が良いくらいで、2月に至つては全館休業状態です。極めて厳しい時期に来ているなという印象を受けます。

宿のトキの保護をやっています。そ

の延長線上で、田んぼが持つ意味

といものを、次世代の人たちに伝えていきたいた。

これまで嫌がっていた農作業を始める事にしまし

た。

野生のトキの保護をやっています。そ

の延長線上で、田んぼが持つ意味

といものを、次世代の人たちに伝えていきたいた。

これまで嫌がっていた農作業を始める事にしまし

た。

野生のトキの保護をやっています。そ